

インターホン (PSC番号: AX-02)

2004.3.1AX-02
2003.9.29 制定

注)この基準はエコリーフプログラム実施用に作成されたものです。事務局の承諾無く、本内容を他の目的に使用することを禁止致します。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
1	PSC 設定の前提	製品	定義	オフィス業務および一般家庭において、声や画像で来客を確認する装置。カメラ機能の付いたテレビドアホンやインターホンに接続できる監視カメラも含む。
2			範囲	最小販売単位(個包装と個装箱)に含まれる本体と包装一式。但し、上記形態で製品機能が満たされない場合は、別途機能を満たすために必要な機器も含む。 また、物流に用いる集合箱などの中間梱包資材も含む。
3		ステージ	範囲	全ライフサイクルステージ
4	製品 データシート (LCI入力データ)	製品ステージ 情報 (製品情報)	製品材料または原料構成	<ol style="list-style-type: none"> 部品等A扱いの部品(加工、組立負荷を自身で把握する部品) <ul style="list-style-type: none"> ・スピーカー ・画像表示部 製品データシートに記載する材料分類名 普通鋼、電磁鋼板、ステンレス鋼、アルミニウム、銅、その他金属、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、ゴム、ガラス、紙、実装回路基板とし、この12項目以外は使用する原単位名を記載する。 資源投入量 製品となった段階の材料質量で算出する。 但し一部の部材が把握できない場合の特例として、製品全質量の90%以上の材料を種類別に分類できる場合に残りを比例配分して100%換算しても良いものとする。 オープンライフサイクル/リユースを含む場合は次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 <ol style="list-style-type: none"> (1)「間接影響」範囲とする工程 (2)「間接影響」範囲内の控除・負荷
5		製造ステージ 情報 (製造サイト情報)	投入、消費、 排出される物質 とエネルギー	<ol style="list-style-type: none"> 投入、消費項目 電力、A重油、軽油、灯油、ガソリン、LNG(都市ガス)、LPG、都市用水、工業用水、地下水 排出項目 特定せず。但し、各社で重要と判断したものを記載する。 輸送負荷 原則として投入物質(原材料・エネルギー)の輸送負荷は計上しない。 但し、部品等Aのサイト間輸送負荷を計上すること。 部品等Aが海外生産の場合は輸送ステージと同様に、海外生産地の国内輸送と日本までの海外輸送を計上し、国内輸送負荷に加算する。 その輸送条件は各社の実態で設定できるが、設定根拠を明確にすること。 副産物・副資材 計上しない。 ・副産物とは、製造工程においてその主な目的として製造される製品とは別に、副次的に発生して有価売却される生成物を指す。 ・副資材とは、製造サイトで投入され、また廃棄される資材で製品と共に出荷されないものを指す。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
6		物流ステージ情報	製品の輸送条件	<p>1) ユーザーまでの輸送手段、積載率は、申請各社が設定するモデルに基づく。</p> <p>2) 国内輸送距離(使用場所までの輸送) 500kmとして算定する。</p> <p>3) 海外から国内への製品輸送負荷 製造サイトからの陸上及び海上輸送負荷を計上する。</p>
7		使用ステージ情報	製品の使用条件	<p>1) 使用条件 ・使用期間：7年間 ・動作時：30分/1日 待受け時：23時間30分/1日 ・1年は365日とし閏年は含まない。</p> <p>2) 消費電力の測定方法 ・動作時消費電力・待受け消費電力は、電気用品安全法の技術基準で決められている最大消費電力・待受け消費電力測定基準に従う。 ・機器構成は、製品仕様に書かれた使用時条件における消費電力が最大となる状態で測定する。 (増設機器・オプションが接続可能な場合、それらを含めた最大値で評価する)</p> <p>3) 故障修理に起因する材料、エネルギー等の消費の扱い 標準シナリオでは発生しないので本PSCでは対象外とする。</p> <p>4) 個装箱など梱包材料の扱い 一般家庭用の場合のみ、個装箱などの梱包材料には容器包装リサイクル法で定められた最新の条件でのリサイクルを適用する。 その場合、同法対象のリサイクル量相当分は処理負荷と控除量を共にゼロとして扱う。 (容リ法対象リサイクル量 = 容器包装排出見込み量 × 算定係数)</p>
8		廃棄・リサイクルステージ情報	製品の廃棄・リサイクル条件	<p>標準シナリオの設定</p> <p>1) 主市場が一般家庭用の場合 ・ 本体、付属品などを含め不燃物として一般廃棄物扱いとする ・ 紙類は可燃物として扱う。</p> <p>2) 主市場が業務用の場合 産業廃棄物扱いとして処理シナリオを作成する。</p> <p>3) オープンリサイクル/リユースを含む場合は次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1) 「間接影響」範囲とする工程 (2) 「間接影響」範囲内の控除・負荷</p>
9	製品環境情報 開示シート (PEIDS)	インベントリ分析	LCI 計算式	オープンリサイクル/リユースを含む場合は間接影響と直接影響に分離して計算し、このうち間接影響分を「リサイクル効果」として表現する。PEIDS では間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載し、リサイクル効果の内訳をPEIDSの解説欄に記載する。
10		インパクト評価	カテゴリ追加	「オゾン層破壊」と「富栄養化」は含めない。
11	内訳データシート	データ加工	アロケーション	統一せず、各社で適宜決定する。
12	>製品データシート関連	データ収集	収集範囲	新製品の場合などでまだ実績データが把握できない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータ(含む原単位)で代用しても良い。
13			カットオフルール	組立負荷等についてカットオフを適用する場合は、その旨を明記しかつその理由を明確にする。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
14	内訳データシート >PEIDS 関連	データベース	共通原単位の選定	対象>使用するエコライフ共通原単位 1) 各社が定めた購入部品の組立>「部品組立」 2) フレキ基板、LCD、その他実装する基板>実装回路基板 3) ACアダプター>電磁鋼板50%、銅20%、該当樹脂30% 4) 電源コード>芯線:銅40%、被覆材:該当樹脂60% 5) カールコード>芯線:銅20%、被覆材:該当樹脂80% 6) 信号線コード>芯線:銅10%、被覆材:該当樹脂90% (注記: 以上は個別原単位の使用を制限するものではない。)
15			原単位の追加	なし
16			特性化係数の追加	なし
17	製品環境情報 (PEAD)	製品仕様		1) 一般家庭用、業務用の区分 2) 通話方式(ハンドセット同時通話、ハンズフリー交互通話) 3) カメラ機能付き、カメラ機能なしの区分 4) 製品重量 5) 使用時機器構成
18		データ公開内容		1) 必須記載項目 温暖化負荷、酸性化負荷、エネルギー消費量 2) 任意記載項目 ガイドライン記載の7項目 3) Eセクション下部 記載内容 「公開対象範囲にはインターホン本体、マニュアル類、付属品、包装材料、 集合箱(使用の場合)が含まれています。」 4) Eセクション 表現方法 各ステージ及びステージ合計の温暖化負荷(CO ₂ 換算)を棒グラフで示す。 5) オープンリサイクル/リユースを含む場合は ・「リサイクル効果」は実際に発生した負荷とは統合せずに、 独立してステージ毎に点線で表示する。 ・リサイクル効果の内訳は欄外に記載する。
19		その他 環境関連情報 (選択記載事項)		当該製品に関係する、第三者による事実確認が可能な下記の情報を記載できる。 1) タイプ および/又はタイプ の環境ラベル 2) ISO14001 認証の取得 3) 国または工業会等の認証・認定・表彰 4) 有害物質使用状況 鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・ポリ臭化ビフェニール(PBB)・ポリ臭化ジフェニールエーテル(PBDE)の6物質の使用有無 なお情報公開の対象部分が限定される場合には、それを明示する。 5) 環境配慮型素材の情報 該当部を指定し、素材名を明記する。